

SDGsフォーラム2019

G20岡山保健大臣会合開催記念事業

2019.2.17(日) 12:45~17:00

岡山国際交流センター(岡山市北区奉還町2丁目2番1号)



持続可能な社会の実現に向けて様々な主体が学び合い、連携・協働してきた岡山地域。その土壌を活かしながら2030年に向けた世界共通目標「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成に貢献し魅力的な地域を築くために 必要なことは何でしょうか?ビジョンや戦略、取組を共有しながら更なるアクションにつなげます。

プログラム

12:45 **おかやま協働のまちづくり賞表彰式**

10:00~12:00

SDGs×ユース・ネットワーク・ミーティング

13:00 **開会挨拶**

大森雅夫(岡山市長)

槇野博史(岡山大学学長)

松田正己(岡山経済同友会代表幹事/山陽新聞社代表取締役社長)

13:15 **基調講演**

枝廣淳子(大学院大学至善館教授)

14:00 **パネルディスカッション**

石原達也(特定非営利活動法人 岡山NPOセンター代表理事)

江田美幸(岡山市市民協働局長)

藤木茂彦(岡山経済同友会SDGs研究・推進会議座長)

横井篤文(岡山大学副学長(海外戦略担当))

休憩

15:10 **分科会**

16:30 **全体会**

各分科会からの発表

コメント 瀧口博明(国連大学サステナビリティ高等研究所
プロジェクトディレクター)

閉会挨拶

阿部宏史(岡山ESD推進協議会会長)



おかやま協働のまちづくり賞表彰式

H 一般財団法人 橋本財団

このテーマに賛同していただき、
一般財団法人橋本財団に協賛を受けました。

第3回おかやま協働のまちづくり賞 テーマ「やりがいと豊かな暮らし」

第3回目の協働のまちづくり賞は、SDGs 8, 11に沿った「やりがいと豊かな暮らし」をテーマとして、若者、女性、高齢者、障がい者を含むすべての市民が、仕事などにやりがいを感じ社会の一員として活躍できる取組、住みやすい地域をつくる取組を募集し、9件のステキな取組の応募がありました。多様な主体により地域の社会課題を解決する優れた協働の取組を表彰し、応援します。

大賞

西日本豪雨災害支援ボランティア「自由あそびのひろば」

(代表団体：助け合うお母さんの会)



7月豪雨で甚大な被害を受けた平島地区で後片付けに追われる家庭を支援するために、隣接する地域の小さな子を持つお母さんたちが中心となって、被災した家庭の子どもたちの預かりや居場所づくりを行いました。忘れることはできない昨年の災害。若いお母さん方が立ち上げた会が、多くの主体の協働を通じて夏休みの長期間、被災した家庭の子どもたちの居場所として活動を継続されたことに感謝の念を伝えたいと思います。地域のつながりの重要性、地域で育てる私たちの子どもたち。一つひとつの力を合わせることで、協働力も高まります。復興はまだまだであり、災害に向き合う時代にもなってきました。岡山市民のみなさんに知ってもらいたい活動です。

入賞

ひよこ子ども食堂

(NPO法人ひよこ子ども食堂)



岡山市北区京山地区 地域の絆プロジェクト

(岡山市北区京山地区ESD推進協議会)

～「ノラ猫」ではなく「地域猫」へ～猫と人間が共生する
地域をつくりたい!!

(NPO法人岡山ニャンとかし隊)



支援を必要とする子どもの
仕事体験活動～よつばの会～
(よつばの会)

奨励賞

- ◆ 下之町商店会プレゼンツ オーケストラリハーサル イン ルネス (協同組合岡山市下之町商店会)
- ◆ 耕作放棄地再生で小人数による6次産業の起業 (もち麦&蕎麦でまちおこし) (蕎麦でイキイキ実行委員会)
- ◆ 3世代キラリ交流会 (3世代キラリ交流会実行委員会)
- ◆ 西川エリアの魅力向上のためのまち育て協議体の設立
～自然ロケーションと地域資源を融合した仕組みづくり～ (西川エリアまち育て協議体)



基調講演

「SDGsで岡山市の持続可能な地域社会を実現する ～SDGs先進地域に学ぶ、まちづくりのプロセスとパートナーシップ～」



枝廣淳子 大学院大学至善館教授

『不都合な真実』（アル・ゴア氏著）の翻訳をはじめ、講演執筆等を通じて、地球環境の現状や国内外の動きを発信。持続可能な未来に向けた新しい経済や社会のあり方、幸福度等を高める考え方や事例を研究している。意志ある未来を描く地方創生事業にアドバイザーとして関わるなど、多くの自治体や企業において合意形成の場づくりやファシリテーターを務めている。

講演内容

SDGs先進地域といわれる地域は、まちづくりにあたって、どのようにSDGsを取り入れ、プロセスを進めてきたのでしょうか。ファシリテーターとして、まちづくりのビジョン策定や、地元経済の見える化・活性化等に関わっている北海道下川町や熊本県南小国町、島根県海士町などを例に、共有ビジョンを「バックカasting」で描き、実現に向けた望ましい構造を考え出し、産官学民の協働でプロジェクトを進めていくプロセスや取組、社会的な価値を測る新しい手法についてご紹介します。

パネルディスカッション

「持続可能な地域づくりに向けた戦略とアクション」 司会：枝廣淳子

岡山地域にてSDGsを推進する産官学民の代表者が、2030年に向けたビジョンや戦略、実践を共有し、持続可能な岡山の実現に向けて、意志ある未来を築くための連携や協働のあり方等について話し合います。

パネリスト（50音順）

石原達也



特定非営利活動法人
岡山NPOセンター
代表理事

江田美幸



岡山市
市民協働局長

藤木茂彦



岡山経済同友会
SDGs研究・推進
会議座長

横井篤文



岡山大学副学長
(海外戦略担当)

分科会

分科会①「暮らしているだけで健康になれるまちを目指して

～個人で取り組む健康づくりから、企業も一緒に取り組む健康づくりへ～

3 すべての人に
健康と福祉を



SDGsの目標3「すべての人に健康と福祉を」を切り口として、SDGs未来都市として岡山市が推進する「誰もが健康で学び合い 生涯活躍するまちおかやま」の実現に向けて、多様な主体の協働を進める健康づくりの事業やアイデアについて話し合います。

- ファシリテーター： 浜田淳（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授）
- 発表者： 大山和弘（中国銀行人事部次長）
高橋正志（株式会社マスカット薬局 代表取締役）

分科会②「質の高い教育をみんなが受けられる」ためには？

4 質の高い教育を
みんなに



「2005年からESD（持続可能な開発のための教育）を推進してきた岡山地域。学校や公民館などでの教育の見直しに取り組んでいます。一方で、それらの教育にアクセスできない人たちが多くいるという問題にはどのくらい取り組めていたでしょうか？ 質の高い教育をみんなが受けられる社会にするために大切なことについて、2人の若者に体験を話していただき、考えます。

- ファシリテーター： 原明子（ESDコーディネーター）
- 発表者： 南埜充紀（岡山ユースミーティング）、中山遼（フリースペースあかね）

分科会③「やりがいと豊かな暮らし」

8 働きがいも
経済成長も



11 住み続けられる
まちづくりを



SDGsの目標8、目標11をテーマとした「やりがいと豊かな暮らし」につながる「協働のまちづくり賞」を受賞した取組の事例発表をします。市民誰もが仕事やボランティアにやりがいを感じ社会の一員として活躍できる取組、住みやすい地域のしくみをつくる取組に学びます。

- ファシリテーター： 高平亮（ESD・市民協働推進センター）
- 発表者： 第3回おかやま協働のまちづくり賞 大賞・入賞取組

SDGsって何？

持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）のこと。2015年9月の国連サミットで国連加盟国193か国の全会一致で採択された目標で2016年～2030年に達成すべき17の目標、169のターゲットが掲げられています。「誰一人取り残さない」を合言葉に、国際・国・地域レベルなどで目標達成に向けた取り組みが進められています。岡山地域では岡山市が「SDGs未来都市」に選定され、岡山大学は「第1回ジャパンSDGsアワード」特別賞を受賞するなど、行政、企業、大学、市民団体など様々な主体がSDGsを推進しています。

